

平成 23 年(2011)

秋号

# 中部地区会 News



発行／静岡県放射線技師 中部地区会

発行責任／大木 義彦

編集／山田 浩之

2011/10 発行

## index—もくじ

- 胃がん検診エックス線  
撮影従事者講習会報告……………P2
- 放射線セミナー……………P4
- 経過・報告……………P7
- ボーリング大会のお知らせ……………P8



# 第1回胃がん検診エックス線 撮影従事者講習会



平成 23 年度

# 第 1 回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会 が開催されました！

平成 23 年 7 月 16 日 (土) 藤枝市立総合病院 参加者 31 名

## 【メーカー公演】

- ・「高濃度硫酸バリウム造影剤について」

伏見製薬株式会社 営業企画課 竹内修平 先生

## 【放射線技師講演】

- ・「当院における胃 X 線撮影について」

藤枝市立総合病院 放射線科 蒔田鎮靖 会員

## 【特別講演】

- ・「胃 X 線像と内視鏡検査（治療も含めて）」

藤枝市立総合病院 第一診療部長 丸山保彦 先生



平成 23 年 7 月 16 日 (土)、静岡県放射線技師中部地区会主催の第 1 回胃がん検診 X 線撮影従事者講習会が藤枝市立総合病院で開催されました。当日は連休の初日の影響もあってか、若干少なく感じられる 31 名が参加されました。

当日はまず大木中部地区会会長による静岡県放射線技師会の公益社団法人化の話を織り交ぜた挨拶で始まり、以下講師の先生 3 名による造影剤、胃 X 線撮影法、内視鏡と胃 X 線像についての講演が午後 2 時から 4 時 30 分にかけて行われました。

まず伏見製薬株式会社営業企画課 竹内修平先生が、「高濃度硫酸バリウム造影剤について」との題で、胃 X 線撮影造影剤についての講演をされ、最近の標準として少量で高濃度な造影剤（130～150cc、200w/v%以上）を使用する施設が多い。ポイントとして胃の中で拡散しやすくするため、ジュースと同程度の低粘度である。そのため高齢者では誤嚥に対して注意しなければならないとのこと。また発砲剤については基礎的な物理特性を説明されたあと、濃度変化の少ないバリウムを用いた服用法が有用だとの説明をされました。



藤枝市立総合病院放射線科 蒔田鎮靖会員

次に藤枝市立総合病院放射線科 蒔田鎮靖会員が「当院における胃X線撮影について」との題で講演されました。このなかで胃X線撮影の精度管理、精度向上を目的で、NPO 法人精度管理機構による日本消化器がん検診学会認定の技師試験が今年行われることをまず話され、この機構の標準撮影法に基づいて藤枝市立病院で行われている撮影法を解説されました。

基準体位としての10体位、また基準体位では補えない場合の任意体位、各撮影体位の被検者ビデオおよび標的部位、バリウムを付着させるための体位変換の実際、圧迫ふとんの挿入など詳細にまた解りやす

い説明でした。最後に検診でがんを見落としされていた症例を呈示され、撮影者のスキルアップの重要性を訴え、話を終えました。

最後に藤枝市立総合病院第1診療部長 丸山保彦先生が「胃X線像と内視鏡検査」との題で講演されました。まず胃がん高リスク群をピロリ菌と萎縮の関係および胃の萎縮と発がん部位、型との関係について説明され、胃透視を行う技師はこの関係を頭にいれて検査を行うべきと話されました。

内視鏡検査の話では画像の見方、部位を解りやすく説明されたあと症例の内視鏡画像を提示、それを描出する最適な胃X線撮影体位を会場の参加者に質問し、正解を解りやすく解説をされました。最後に内視鏡検査の弱点である接線方向の画像の説明をし、話を締めくくられました。

胃透視は昔から用いられてきた検査法です。今回の講習会で「温故知新」とのことわざを思い浮かべました。今後の従事者のより一層の研鑽を期待したいと思います。



藤枝市立総合病院 第1診療部長 丸山保彦先生

静岡市立静岡病院 小泉健二

平成 23 年度

## 第 1 回 放射線セミナー

が開催されました！

平成 23 年 10 月 8 日 (土)

藤枝市立総合病院

参加者 33 名

### 【メーカー公演】

- ・「抗悪性腫瘍剤ハラヴェンについて」

エーザイ株式会社日本事業本部 東海エリア 静岡医薬一部

櫻井祐 先生

### 【放射線技師講演】

- ・「中部地区各施設における乳腺画像撮影と疾患について」

マンモグラフィー

市立島田市民病院

廣澤和美 会員

乳腺エコー

藤枝市立総合病院

秋山敏一 会員

MR マンモグラフィー

静岡市立静岡病院

小泉健二 会員

乳腺疾患の症例について

総合病院静岡厚生病院

岸川祥子 会員

### 【特別講演】

- ・「乳癌の画像診断と病理」

焼津市立総合病院 副院長

平松毅幸 先生



平成 23 年 10 月 8 日 (土)、第 1 回放射線セミナーが藤枝市立総合病院で開催されました。

まず初めにエーザイ株式会社 静岡医薬一部 櫻井祐先生が「抗悪性腫瘍剤ハラヴェンについて」という題で今年の 7 月に発売され、化学療法に使用されている乳がん抗がん剤のハラヴェンについてお話されました。抗がん剤では初めて国内企業のみで取り扱われ、日米欧三カ国で同時に使用が始められているそうです。ハラヴェンを使用したところ、手術不可能、再発乳がんの方に対して、

延命効果が認められ、腫瘍の縮小効果が優位に認められたということでした。

次に中部地区各施設における乳腺画像撮影と疾患について、4 名の会員から発表がありました。



はじめに「当院におけるマンモグラフィ検診」という題で市立島田市民病院の廣澤和美会員から発表がありました。健診、他院からの紹介、自己来院により年間 1,400～1,800 名のマンモ撮影を行っているそうです。

マンモグラフィは MLO、CC に加え所見のある方に対して拡大スポット、XCC を追加して撮影しているそうです。精密検査になった方の細胞診としては、腫瘤に対しては FNA や CNB を、石灰化に対してはステレオガイド下マンモトームを、FNA などで細胞が採取出来な

かった時はエコー下マンモトームを施行し、悪性という結果が出たものについて MRI を行っているそうです。最後に実際に使用しているマンモトームの機械と症例を話され発表を終えました。

次に「乳腺エコー撮影と疾患について」という題で藤枝市立総合病院の秋山敏一会員から発表がありました。乳腺エコーは、触診やマンモグラフィの結果を踏まえて、患者さんとコミュニケーションを取りながら施行できる検査で、マンモグラフィで指摘された石灰化をエコーで再び抽出することにより、マンモトームのない施設でも細胞診をすることができるそうです。そのエコー像を用いて浸潤性乳管がん、非浸潤性乳管がんの違い、腫瘤像形成性病変、非腫瘤像形成性病変の特徴などを実際の画像と対比しながら解り易く説明されました。またエラストグラフィでは硬さを画像化して悪性度をみることができるとも説明されました。最後に乳管内進展の広がりについては MRI の方が優れていますという言葉で発表を終えました。



その次に「当院における乳腺 MRI 検査」という題で静岡市立静岡病院の小泉健二会員から発表がありました。年間 5,000 件のうち乳腺 MRI は 150 件弱で年々増加していて、臨床の有用性が求められているそうです。MRI に主に求められているものは良悪性の鑑別診断、広がり診断で、良悪性を識別する造影パターンには空間分解能と時間分解能があるそうです。実際の患者さんの体位工夫、文献片手に考え出したプロトコルを話され、マンモグラフィや乳腺エコーの所見と MRI の所見を画像を示しながら解り易く説明されました。今後の課題にふれ、3T の MRI の購入による精度の高い広がり診断、MRspectroscopy の導入に期待して発表を終えました。

最後に「乳腺疾患の症例について」という題で静岡厚生病院の岸川祥子会員から発表がありました。MRIが発見の発端となった乳腺神経内分泌がんという稀な症例を紹介されました。実際の患者さんは触診、マンモグラフィ、エコーでは異常所見がなかったものの、血性分泌物と乳頭陥没を伴っていたため、MRIを施行。その後エコー下穿刺により乳腺神経内分泌がんが見つかったそうです。DCISの約6.8%しかないという稀ながんだったそうです。やはりMRIは病巣の存在診断、広がり診断に優れているという結論で発表を終えました。

今後は触診、マンモグラフィ、エコー、MRIを上手に併用して、より精度の高い診断が出来るように、乳腺画像撮影の仕事に携わって行きたいと思います。



総合病院静岡厚生病院 岸川祥子会員

医師会健診センター 佐藤洋代



焼津市立総合病院 副院長 平松毅幸先生

特別講演に焼津市立総合病院 副院長 平松毅幸先生が「乳癌の画像診断と病理」と題してお話されました。まず、日本国内での乳癌の罹患率や死亡率、世界との比較などをお話しされました。乳癌は増加しているが、世界34ヶ国と比べると低いほうで、日本では胃、肝臓癌が多いということでした。乳癌にはいくつかの危険因子があるのですが、その中の一つ、家族性乳癌といわれるものは、3親等以内に3人以上乳癌になった方がいると癌抑制遺伝子が壊れている可能性があり、癌になる可能性が高いので、早めの検診が必要であるとのことでした。

乳癌が発見される症状として、89%は腫瘍の触知によるもので、痛みによるものは2.1%しかなく、よく乳房が痛いと来院される方が多いが、癌である可能性の人はほとんどいないということでした。それから、乳腺腫瘍疑いで来院された方で、40歳後半の方の半分以上は癌であり、70歳以上では90%以上の方が癌であるということでした。

乳癌の画像をマンモグラフィ、超音波、MRIで示していただき、診断や治療を進めていく過程をお話しされました。術式に関しては部分切除+放射線治療と全切除の生存率は同等ということでした。その他に、化学療法、内分泌療法、抗がん剤の使用についてお話され講演は終了しました。

藤枝市立総合病院 山田浩之

## 経過報告

7月16日 平成23年度 第1回 胃がん検診エックス線撮影従事者講習会

9月30日 第2回幹事会（藤枝市立総合病院）

10月8日 平成23年度 第1回 放射線セミナー

## 第2回 幹事会報告

日時 平成23年9月30日 18:30～

場所 藤枝市立総合病院

出席者 中部地区会幹事 10名、県技師会副会長1名

- |                |                                   |
|----------------|-----------------------------------|
| 1 県技師会より報告     | 6 新役員について                         |
| 2 地区会報告        | 7 第2回 放射線セミナーと<br>胃がん検診従事者講習会について |
| 3 放射線セミナーについて  | 8 総会について                          |
| 4 地区会ニュースについて  | 9 その他                             |
| 5 レクリエーションについて |                                   |

## 行事予定

11月 12日（土） ボウリング大会（詳細は次ページ）

平成24年

3月 3日（土） 第2回放射線セミナー

第2回胃がん検診従事者講習会

中部地区総会

# ボウリング大会参加者大募集

今年度もボウリング大会を企画しました。

親睦を兼ねて、仕事の憂さ晴らしを兼ねて、楽しく開催したいと思います。

日頃、こつこつと腕を磨いている人、まったくの素人の方などいろいろな方の参加を

お待ちしております。

また今回も豪華賞品を用意していますのでぜひご参加ください!!



- 日時 : 11月12日(土)  
受付時間 : 13:30~  
ゲーム開始時間 : 14:00~
- 場所 : ボウルアピア静岡 (SUPERWAVE 静岡店 (プラザアピア静岡内))  
住所 : 静岡市駿河区中吉田15-8 (地図参照)  
参加費 : 1000円 (靴代込み)  
ルール : 2ゲームの合計 (女性ハンディ有)

参加希望の方は11月4(金)までに下記へFAXにて送信ください

J A 静岡厚生連 静岡厚生病院

F A X : 054-271-7635

放射線科 薬科 まで





# 参加申込書

J A 静岡厚生連 静岡厚生病院 放射線科 藁科 宛

F A X : 054-271-7635

施設名 \_\_\_\_\_

名前（フルネーム）	性別
	男・女
	男・女
	男・女
	男・女
	男・女
	男・女
	男・女
	男・女
	男・女
	男・女
	男・女